


主日礼拝 2015年8月2日


神様の事を、いつも第一にしないで、そうすれば、衣食住は、
天にいらっしゃるお父様が必ず面倒をみてください。(マタイ 6:33)

厚木聖書キリスト教会




聖書

エベソ教会への手紙 1章19節




19さらに、私たち信じる者たちのうちに働く神の驚くべき力が、どんなに大きなものであるかを、あなたがたが知ることができるようにと祈っている。

エベソ教会への手紙1章19節



「信じる者のうちに働く神の驚くべき力」
エベソ教会への手紙 1章19節
尾山 令仁 牧師



1. 体験のない信仰は弱い

- 信仰において体験のない人は、大体において観念的な信仰（頭だけの信仰）
- 話をさせれば立派なことを言い、書かせれば立派なことを書いても、信仰が自分のものになっていなければ、いざと言う時、何の力にもならない。

- 何か大きな問題にぶつかった時、ノンクリスチャンと同じように悩むだけ
- 信仰体験をしている人は、悩んでも、それを乗り越える力を持っている。

2. 信仰体験は御言葉に基づく

聖書の文体を分類すると次のようになる：

1. 叙述—いつ、どこで、だれが、何をしたか。
2. 宣言—「神は愛である」(ヨハネ1 4:16)

「神は光であって、少しも暗いところがない」
(ヨハネ1 1:15)

「神は霊である」(ヨハネ 4:24)

3. 命令—命令形で書かれている。

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことについて感謝しなさい」(テサロニケ第1 5:16-18)

「御霊に満たされなさい」(エペソ 5:18)

4. 約束

「神様の事をいつも第一にきなさい。そうすれば、衣食住は、天にいらっしゃるお父様が必ず面倒を見てくださいます」(マタイ 6:33)

「イエスは言われた『よく言うておきますが、確かに、わたしのため、福音のために、家、兄弟、姉妹、母、父、子、あるいは財産までもささげた人は、すべてその何百(つづく)』

(つづき)

倍もの報いを受けます。今のこの時代には、たとえ迫害されても、家、兄弟、姉妹、母、子、そのほか財産が、すべて本当の価値となり、後の世においては、永遠に神様から祝福を頂くことができます」(マルコ 10:29-30)

- 信仰体験とは、これらの命令や約束に従うことによって与えられる。その時、聖霊がそれを体験させてくださる。
- 信仰体験のない人は、これらの命令や約束を適当に解釈して、従おうとしない。

3. 信じる者のうちに働く神の驚くべき力は、キリストを死人の中から復活させた力(エペソ1:20)

不可能を可能にさせるのは、神の全能の力。

